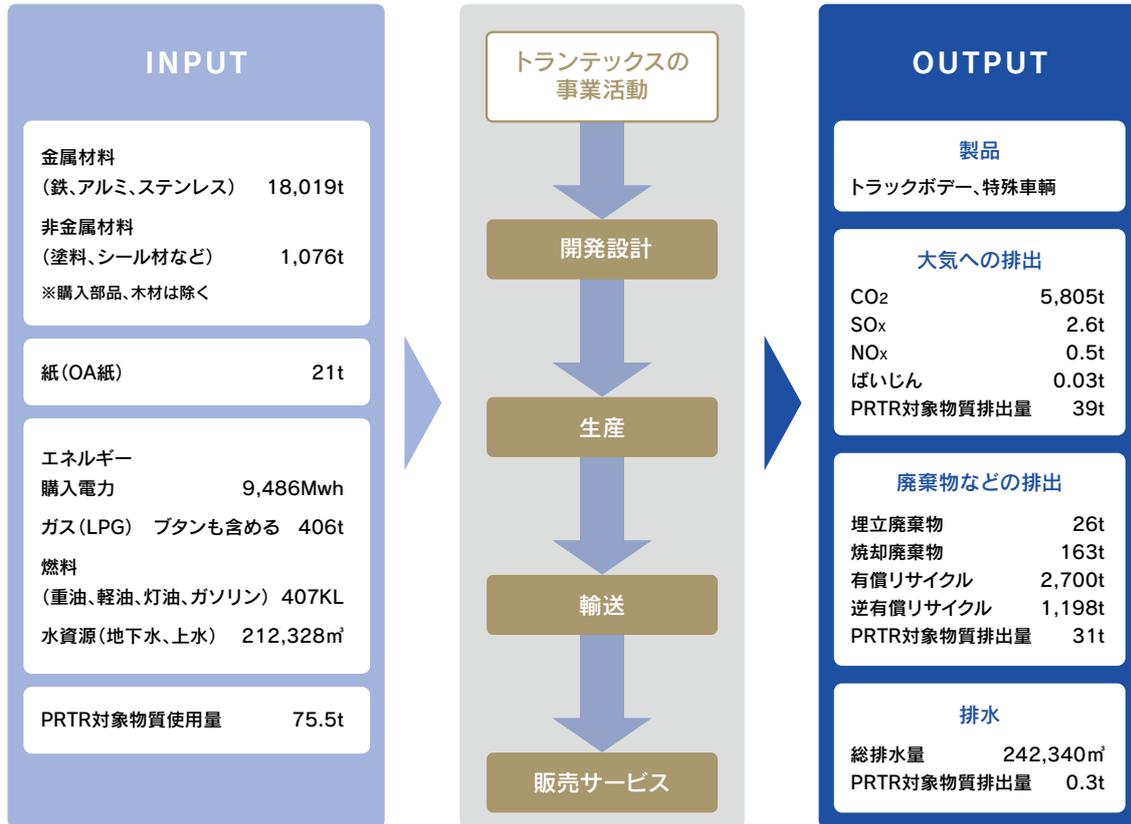


事業活動と環境影響

事業活動と環境影響

事業活動における投入資源（インプット）と排出による環境負荷（アウトプット）を定量化し、環境への影響を把握して、環境負荷低減活動に活用しています。

【事業活動における2018年度の投入資源と環境への排出】

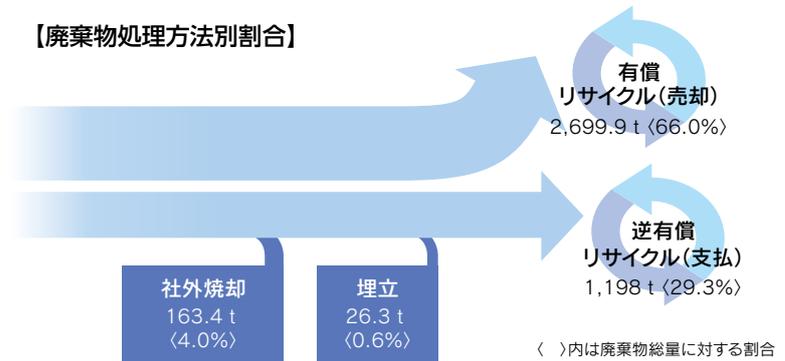


PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) : 有害化学物質排出・移動登録制度
 SO_x : 硫黄酸化物 NO_x : 窒素酸化物

廃棄物の処理方法種類と割合

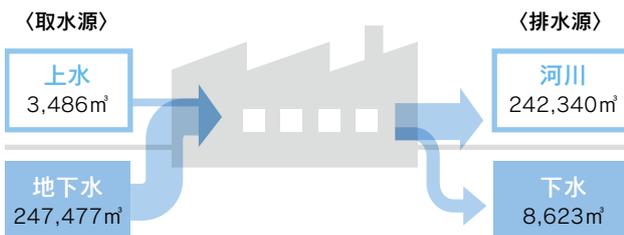
工場内で発生する廃棄物については限りある資源を有効活用していく観点から、地道な活動を通して焼却処理や埋立処理からリサイクル処理へのシフトを進めています。

【廃棄物処理方法別割合】



水源別取水量と排水先

工場内で使用される水は主に塗装工程や検査工程で使用されており、地下水でまかなっています。使用後は廃水処理設備で適正な水質に戻してから河川放流しており、定期的に外部の専門業者に依頼して水質検査を行い異常がないことを確認しています。

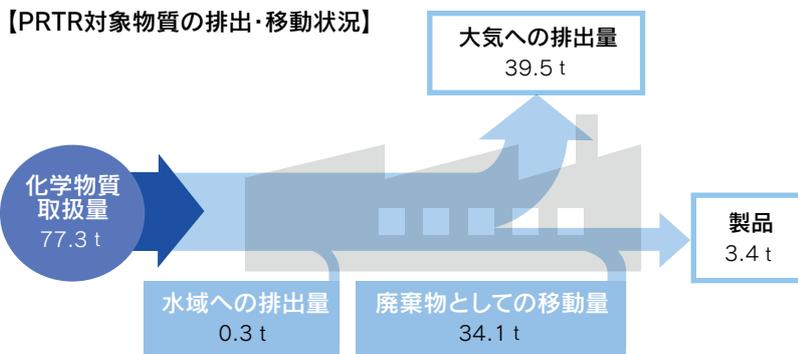


項目	法基準値	2018年度測定値 (年間最高値)
PH	5.8以上8.6以下	6.5-6.8
BOD	30mg/L以下	18
COD	-	12
SS	110mg/L以下	1未満
n-ヘキサン動植物油	30mg/L以下	1未満
n-ヘキサン鉱油類	5mg/L以下	1未満
亜鉛	2mg/L以下	0.7
溶解性マンガン	10mg/L以下	0.8
鉛	0.1mg/L以下	0.01未満
六価クロム	0.5mg/L以下	0.05未満
フッ素	8mg/L以下	0.3
窒素	-	2.8
リン	-	0.05
アンモニア・アンモニウム化合物亜硝酸化合物および硝酸化合物	100mg/L以下	4.8

大気・水質への化学物質の影響

当社では大気・水質に影響を与える化学物質を含む塗料や接着剤等を使用しており、自主的な活動はもちろん、各仕入先様と協力しながら取扱量を減らす努力を続けています。また2008年生産分から商品に含まれる環境負荷物質(*)全廃を行い、現在は購入する材料・部品の環境負荷物質の有無を事前に確認する体制をとっています。(お客様指定品や一部機器は除きます。)

【PRTR対象物質の排出・移動状況】



温室効果ガス使用量 (kg)	
HFC125	202.4
HFC134a	279.2
HFC143a	18.4

(*) 4重金属を含む11禁止物質
 鉛 (Pb)
 水銀 (Hg)
 カドミウム (Cd)
 六価クロム (Cr+6)
 アスベスト
 PBB (ポリ臭素化ビフェニル)
 PBDE (ポリ臭素化ジフェニルエーテル)
 テカBDE (テカ臭素化ジフェニルエーテル)
 HBCD (ヘキサブロモシクロドデカン)
 PFOS (パーフルオロオクタンスルホン酸)
 DMF (フマル酸ジメチル)